

甘粕事件續行公判

平重盛の苦しい立場

敢然母を捨て身を棄て
 決行した心中は御諒察を乞ふ
 聲涙共に下る辯論

[illegible]

非常時の指揮は
動機に就て所斷せつ

若し重刑を以て本件に臨まば
國家的思想に重大影響あらん

其時韓公の答辭は、十四日午後
零時四十五分、經口譯、歐羅巴
平松辯士、甘樹に對し
載であるから餘たあるは部
下を蒙するのみであらうと云
ふ。蓋するの歐羅巴の國連に符
合さざる爲めの眼で見るには
と雖も、

非常な學識家を驅つて總て迅速
でないばならぬ、其の指揮
を待つて居れば機を失する事
あり、此の時歐羅巴軍に勝る事
し難きは此の時機、取決する事
がある。夫れはこの戰術如何に據
つておこなはねばならぬ、とて張三
十七號の夜渡に於ける、鄭卿、沈官

既、閣下主權喪失の憂は中々
甚なり、王、陳二君の戰
は見違へぬ、爾な復讐、兇
謀、計くも備へられず、
事起て處るの計、陳、鄭
も起るやうが、時勢變遷
鄭派に對する決定である。

孫派の

王世子殿下の御歸鮮は

東宮御慶事後か
御外遊の時期等は未定

王監升殿、聖旨大學館卒掣籤、對死の旨、二十五日賜命、臣等過
 殿、王親長官はカサルに休職、罷る。二十三日、京の
 に相済、バクダの建業、其の意、見たが師の辭、聞て、有
 び、遂へる。禮儀興業、分が殊はれ、で、あらうと思ふ。世に下
 師が早も傳へられて、師が、有、の、思、は、れ、る、其、内、師、生、
 も、控へて、歸る、の、で、師、生、後、と、思、ふ、事、ある、一、師、長、官、は、卒、終、式、終
 起る、で、あらう、が、時、間、等、は、幸、く、未、定、である、一、師、長、官、は、卒、終、式、終
 直に歸籍の豫定である。

閔李王職長官謹話

孫派の女司令

孫派の女司令

勲功に感狀を授與さる
五百の部下を率ひて

滔々懸河の辯

八百の聴衆を魅了す
盛況の中等學校雄辯大會

阿左見韓瑱登壇學生の奮起すべ
秋茲に九校有志の出演を得幸甚
「優勝」

主と天體との關連交渉を説き
 人と人間との形體上の比較な
 る演題を掲げ
 出中初夫君君登壇「人間の優
 美しさ人間性を發揮すべし」
 演説し次て京城華英學校二宮
 君頭先づ適學校に學ぶ者之を
 支衛を以て世に立たる是れ我
 國の責任なりと演説すべし」

懼るべし、然しなからそれに恐
怖することなくして新たなる文
化を建設せよと高唱し

「自由の要求は人間の本性」
 普威爾普卿永新君登壇
 田を愛するは人間の本性で
 る建設に向つて其の第一
 自は踏まざるべからず
 と著なる態度を以て力説



小供 equal 等に對し、買つて居る社會に實學生を出強して作業を賣
地に行つて丁字屋の主人等が一々説明の勞を取つて居る

大同江畔に
疑問の嬰兒死體

不義の結晶？

解剖したが内蜂人の區別がつかぬ

鮮美人の死體

三日月の晩、浮城の戦の翌、海邊に
所蔵の少少の金に廿五圓位の
美人の裸が浮揚したのを発見
た附近の者が騒いだので、本
世所に通報したので、本署に
と同時に直に死者を捜し出さ
んとする感に燃え立つ

鮮満の猛選手

日本武藏國比叡野郡安東里所の
 郷に傳る源流諺道太公は尊皇の
 御紀に二十五午前十時安東小野校
 諺傳へ昨日来りつた寸餘の積
 日本橋の天皇に鑑てつた西陣
 には、
 寸餘の積

劍
 朝敵は秋野郡士 豪勢輩
 白股中今は御紀され
 安東は勿論諺傳各地より
 觀望者は既に毫に誇
 觀望者は総ては肉體血
 如何なるも

勝負

○印

神
殿
傾
斜

昨日の烈風で
二十四日午後四時半頃龍山方面
に降った嵐風の勢は龍山文不
にある加藤神社の本殿は約三十
センチの支柱を以て辛うじて倒壊
を免れたと云ふ

青年團員
指揮官に暴行

旗島青年團の令旨奉體
記念式當日の出來

山本遞信監理課長
貴金屬三千圓を盗まゐ

家人の留守に襲は
 府内大町三丁目露宿者百餘人
 號誌連署山本町太田町方家人の
 留守中二十四日午時餘馬車男何者
 が前駛り侵入し家撲し奪ひ取
 五百圓衣類銀金類數十圓傍路四
 千圓位を奪取逃走したと云ふ
 本町署では露宿者百餘人が
 し犯人を捜索して居る
 就かす餘山本町署に連署
 前歐米より前朝した人

開業資金
三百餘圓を擦替へる

去る十月廿六日、關北赤松縣春木町
 福屋滿藏申取、此に全日本各處の
 萬内三山館の飲食店には、金銀貨
 選金化幣並近來東洋生利仕所
 不定價廉物美と心奪ふもの、雖は
 非人ではあるが、も略稱なく
 する旨であるに依り自分より一銭
 たりてはあらざるを以て、
 んまこと三百五十五圓を詐

詐僞犯人と判明

指紋照會で前科犯歟の

て醫師及觀相等にて一儲けせんと
を競ふ
を買い轉前徘徊中を學
め致取贖べたるに傍
々現金三百圓現れたる
を吐かず遂に係り官は

密輸武
 秘密
 神戶
 本月初旬大連に上陸
 密輸武
 密輸武

秘密武器の出所を
秘密裡に搜索

神戶港で外國汽船から積替
紀陽丸武栗間
 那勝港大連に上陸した日本汽船
 船主はヒストル千三百圓を船主
 百餘圓を輸入したものがあつた
 前餘圓を輸入したものがあつた
 船主は薩摩と仰るものを所持
 するで大連汽船の事件を以て
 を議決した（神戸電報）

十一月二十六日、二十七日

廉價即賣

材料は極く吟味三年以上乾燥
絶対に狂ひを生ぜず體裁良く
仕事に念が入つてをますから
中分があまりません値段は廉
地直接ですから安い事は自
でず好季は二度と来ません

東長
京鉢

摺製一長火鉢一銅落上付
特價二十九圓二十五圓
……數に限りがありますから早見の勝……

合資會社
京城日報社代理部

す 召 に 氣 お ト ツ キ

大山

町 本 府 山 釜 鮮 朝

店支社會式株事商山大

營業品目

類スヤリメ子帽外内

番一九城京 替振 一九六・一九長
番一九阪大 座口 一三五・五二五一

場 工

阪大二第	阪大一第
島廣四第	山金三第

加藤由太郎速記

A black and white photograph showing a person riding a horse over a jump. The horse is in mid-air, clearing the jump. In the foreground, there is a decorative banner or garland hanging diagonally across the frame. The background is a light, textured surface.

[illegible]

復興用品英人註文

タル要領所と價格を協定した爲市
場大體上へ上つて生利になつた

[illegible]

京
城
日
報
社

此國の政變が朝鮮の變に相當せぬ場合に、**イカイ胃散**に吸收されて、全く無効と感ずるのですから、後病の對症に依つて總て無効が表はれるので有ます。

○親と良い藥關係は、
 るいれき。わきな。癆瘵。咳嗽。痰。氣。喘。急。に。きび。氣。喘。癆。瘵。な。皮。膚。病。癰。腫。痔。瘡。等。で。す。から。患。者。に。附。つ。て。胃。散。は。我。社。の。物。理。學。理。に。基。け。れ。ん。藥。を。お。醫。の。致。し。拜。

イカイ胃散

價目 廿五圓 三十圓 五十圓 一圓二圓
 總發行所 大阪 丸の内
 各藥店にあり

[illegible]

此の通り、本局は下手方構構の定跡に依りて對戦したるも二筋の歩を交換したるが早き爲め上手方より五筋に於て金を損れたり而して中盤に於て上手三連手を持して居る點を幸にも四手方より棄戦したるが結果爲め上手方より棄戦したるも遂に敗れたるものと聞きたるも

十一月廿七日
 甲辰 陽曆十一月十九日
 乙未 陽曆十一月十九日
 丙申 陽曆十一月十九日
 丁酉 陽曆十一月十九日
 戊戌 陽曆十一月十九日
 己亥 陽曆十一月十九日
 庚子 陽曆十一月十九日
 辛丑 陽曆十一月十九日
 壬寅 陽曆十一月十九日
 癸卯 陽曆十一月十九日
 甲辰 陽曆十一月十九日
 乙未 陽曆十一月十九日
 丙申 陽曆十一月十九日
 丁酉 陽曆十一月十九日
 戊戌 陽曆十一月十九日
 己亥 陽曆十一月十九日
 庚子 陽曆十一月十九日
 辛丑 陽曆十一月十九日
 壬寅 陽曆十一月十九日
 癸卯 陽曆十一月十九日

五黄 外から滲透まることがある世界を控へて利東と南とが吉
 六白 銀鐵電氣より来る日講事吉
 七赤 日上の引張を受け機世の緒に就く自取して進んで利弊吉
 八白 如神に焦つても手吉
 九紫 財ながらにして大利を占む日大なる取財疾更不利疾が吉
 一白 漸く少く日機銀金吉
 二黒 漸く少く日機銀金吉
 三碧 漸く少く日機銀金吉
 四藍 漸く少く日機銀金吉
 五黄 外から滲透まることがある世界を控へて利東と南とが吉
 六白 銀鐵電氣より来る日講事吉
 七赤 日上の引張を受け機世の緒に就く自取して進んで利弊吉
 八白 如神に焦つても手吉
 九紫 財ながらにして大利を占む日大なる取財疾更不利疾が吉
 一白 漸く少く日機銀金吉
 二黒 漸く少く日機銀金吉
 三碧 漸く少く日機銀金吉
 四藍 漸く少く日機銀金吉

本局は服用し易く、効果佳良、副作用絶無にして服用安全。多量に実験済者の好評實々たり。
 吉村博士。内閣学士外敷氏の実験報告あり。無代至らず
 錠剤・錠剤及び液剤の各様あり。各地有名藥舖にて販賣
 發兌元 東京堂町三共株式会社
 出張所 大阪市東區町洲崎・台北市東町一丁目

(B-1)

◆ 求めよ !!

年九分の定期預金證書

◆ 求めよ !!

日本一の製藥會社の社債

利殖の方法として
求めよ、星製藥株式會社の社債
貯金の方法として
求めよ、投資せよ、ホシの社債
ホシは日本第一は勿論、世界の第一位に列する製藥會社なり。
一 ホシの資本金は五千萬圓。
二 ホシは世界に誇る家族制度連續店たる五萬の特約店を有す。
三
四 製藥者として日本第一の賣上を爲す。

- 五 數年を出てすして世界第一の富を爲し、
日昇天の勢を以て進みつゝ、あるホシの社債は極めて
確實なり。
- 六 幾何級數的の進歩を以て發展し來りたるホシの社債は
極めて安全なり。
- 七 確實安全にして、さうして利通りの良きホシの社債を
利殖の方法として
貯金の方法として
求めよ、投資せよ。
持つて愉快な、さうして安心な
- 八 年九分の定期預金證書
として、ホシの社債を御買ひなさい。
是迄のホシは未成年者なりき。今やホシは丁年に達せ
り。
- 九 丁年者の社債は安全なり。
現代は社債時代なり。
- 〇 求めよ、償還基金附のホシの社債を、
迷はず、誤らず、お買ひなさい。

ホシの社債

社債の特色

社債は、
第一 資金全うとこと
第二 利益のよきこと
第三 二級債より利益せねばならぬ
人。まきの社債は其の利益した
外に、密さんにお金をお貸へし
ます。

ホシ社債は、臨時第一を認
得したとき、時代要求の組織であ
ります。其の特色を挙ぐれば
ホシの社債であります。

一 小額債券
二十圓、五十圓と大小額の債
券あります。

二 買入償還
臨時社債は、償還者選考より購
入購入方法をとります。

三 短期償還

ホシの社債を、

本社債の組織数は、三ヶ年と云
ふ結構であります。そうして二年
目より元利償還をします。

4 償還基金交付
償還基金交付であります。臨時
の時に利益の一割を、社債所有
者の利益に還元して渡します。

社債所有者に
毎月社報を以
て營業報告い
たします。

三 以上はホシの社債の特色であ
ります。社債所有者は、本社の組織
は手に取る如くお分りになりま
す。社債の所有者に、臨時社債の状
態を報告する事は、世界で何處に
もないです。ホシが初めてであ
ります。

ホシを知つて下へ

一 社債をお買ひにいらな
さい。此の記事の全をとお
知。お買ひになつて、荷も
二 星の組織と其事
を是非ともお買ひ下さい
小冊子は、どんなに買
入欲がござんて居ますか
三 ホシの組織と其の事
を説明する及びホシの特
徴を説明するの上げます。

何故社

一 臨時社債の組織をいかに
ある。
二 臨時社債の組織をするには
何をせねばならぬ。
三 大抵の組織には、組織
要だ。
四 組織は、組織の組織とな
なる。
五 立派な組織と、立派な月
報と、立派な人が出るとい
つて、社債の組織が出来る

三 發給の債たる今度の第三國社債も、諸國と斷の歡迎を受けるのは疑ひをいれません。

四 諸國は手を打ちます。今面に申し込んで、おくれないううに なさ。

五 費り出し 價格は暴落通りであります。

六 申すまでもなく、諸社債を賣しません。東京の社債取扱所へ申し込んで下さい。

七 社債は、十二月一日現金引かへに差し上げます。

八 再び發給さこの社債の價値を差し續くべし。

九 諸君にして安心なる年九分の

一 發行總額 五百萬圓

二 債券の種類 二十萬、五十萬、百圓

三 賣出價格 額面

四 利率 年九分

五 利息は毎年六月一日、十二月一日の一回に前六ヶ月分を利引換に支拂ふ

六 大正十二年十二月一日より一ヶ年間据置き、其後大正十五年十二月一日迄に隨時償還す。額面買入に依る。

七 元利金の支拂は、藤本ビルヂロ一カ一銀行本支店及び全國六百有餘の銀行に於て之を取扱ふ。

八 本社債は償還基金附。

[illegible][illegible]

憲政對新政黨
態度決定
となつた
拐帶犯人
重懲罰
(三月)

京成日報

總督府醫院
特定御用
牛乳
御見舞に牛
風券が好適

平山牧場
外門小東京
番三三 門化光話電

柳沢健

舞踏の加藤一夫

日よの代表的婦人雜誌婦人世界を讀じて
 災厄に處する日本婦人へ
 ビアード博士夫人 此種本編から採譯して帝國雑誌に實地
 中の朱子の大夫人を演説し（雑誌に於ける日本婦
 人の特別寄書）婦人（婦人）を見做し（婦人）を同僚ある者
 へ宛てて書かれたる方があるやうな下
 大變災に處する心の準備
 下田文
 學博士

六十錢建永三年
建永五年
建永六年
便宜の口腹へ御拂込を乞ふ
(飢寒六〇一番ノ名古願 二五〇)

豫約募集

刊行所
東京芝罘下
板橋長野三八〇
改造社